

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定
と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

第2編 放射線管理

令和4年9月

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第2編 放射線管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）	説明
<p>第2編 放射線管理 目次（変更なし）</p> <p>第1条 ～ 第15条（変更なし）</p> <p>第3節 周辺監視区域の管理 （周辺監視区域の指定） 第16条 周辺監視区域は、別図第1に示すとおりとする。</p> <p>（周辺監視区域の管理） 第17条 核物質管理課長は、周辺監視区域について、境界にさく等を設けるとともに、別記様式に示す標識を設けなければならない。</p> <p>2 核物質管理課長は、周辺監視区域内において、人の居住を禁止しなければならない。</p> <p>3 核物質管理課長は、職員等以外の者を周辺監視区域に立ち入らせるときは、その者に対し、保安上必要な注意を与えなければならない。</p> <p>第18条 ～ 第56条（変更なし）</p>	<p>添付書類1 変更後における核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和32年法律第166号）第53条第2号に規定する使用施設等の位置、構造及び設備の基準に対する適合性に関する説明書（事故に関するものを除く。）（共通編）</p> <p>4. 立ち入りの防止 周辺監視区域境界のフェンスに、周辺監視区域境界及び許可なくして立ち入りを禁ずる旨の標識を設け、業務上立ち入る者以外の者がみだりに周辺監視区域内に立ち入ることを防止する措置を講ずる。</p>	<p>周辺監視区域に関する措置（居住禁止、立入制限）については変更なし</p>

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第2編 放射線管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）	説明
<p>別図第1 周辺監視区域</p> <p>..... : 周辺監視区域境界 ■ : モニタリングポスト</p>		<p>東海第二発電所防潮堤設置に伴う周辺監視区域の変更</p>

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定
と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

第8編 廃棄物安全試験施設の管理

令和4年9月

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）	説明								
<p>(使用施設の使用上の制限)</p> <p>第5条 ホット材料試験課長は、別表第1に掲げる使用場所ごとに核燃料物質の取扱数量を超えて使用してはならない。</p> <p><u>2</u> <u>ホット材料試験課長は、No.1セルにおいて、使用の目的1と使用の目的2に係る核燃料物質を同時に使用してはならない。</u></p> <p><u>3</u> ホット材料試験課長は、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所から受入れた試料（土壌、瓦礫、植物及び汚染水）、原子炉建屋内及びタービン建屋内で採取した試料（金属材料、有機材料、瓦礫及び滞留水）及び汚染水の処理設備の試料（構造物、吸着材、処理水、汚染水の処理に伴う二次廃棄物）（以下「1F汚染物」という。）<u>並びに同発電所内で採取した熔融した燃料成分が構造物を巻き込みながら固化した物、切り株状燃料及び損傷ペレット（以下「1F燃料デブリ」という。）</u>を使用する場合は、各使用場所内の1F汚染物の放射エネルギーと使用の目的1に係る使用済燃料（<u>1F燃料デブリを含む。</u>）の放射エネルギーの合計が、別表第1に掲げる使用場所ごとの取扱数量を超えて使用してはならない。</p> <p><u>4</u> ホット材料試験課長は、別表第1を各使用場所に表示しなければならない。</p> <p><u>5</u> ホット材料試験課長は、核燃料物質を貯蔵した容器の閉じ込め境界を開封するときは、当該核燃料物質の使用の許可を受けた場所で行わなくてはならない。この場合、内容物が明確に把握できていない核燃料物質を貯蔵した容器の閉じ込め境界を開封するときは、セル等で行わなければならない。</p> <p>第6条 ～ 第14条の2 (変更なし)</p>	<p>【許可書本文】</p> <p>1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名（記載省略）</p> <p>2. 使用の目的及び方法</p> <table border="1" data-bbox="1484 388 2644 1959"> <thead> <tr> <th data-bbox="1484 388 1617 430">目的番号</th> <th data-bbox="1617 388 2644 430">使用の目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1484 430 1617 703">1</td> <td data-bbox="1617 430 2644 703"> 放射性廃棄物の処理処分の安全性に関する試験研究、原子炉等の構造物の健全性に関する試験研究及び原子炉で照射した核燃料物質の照射後試験を行う。また、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所から受入れた試料（土壌、瓦礫、植物及び汚染水）、原子炉建屋内及びタービン建屋内で採取した試料（金属材料、有機材料、瓦礫及び滞留水）及び汚染水の処理設備の試料（構造物、吸着材、処理水、汚染水の処理に伴う二次廃棄物）（以下「1F汚染物」という。）並びに同発電所内で採取した熔融した燃料成分が構造物を巻き込みながら固化した物、切り株状燃料及び損傷ペレット（以下「1F燃料デブリ」という。）の試験を行う。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1484 703 2644 745" style="text-align: center;">使用の方法</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1484 745 2644 1959"> 取扱設備・機器： No.1セル； 容器溶接封入装置、固化体貯蔵ピット、機械強度試験装置 No.2セル； ー No.3セル； 固化体一時貯蔵ピット No.4セル； 腐食試験装置 No.5セル； 小規模熔融固化体作製装置、固化体一時貯蔵ピット、蒸発挙動試験装置 鉛セル； インセル顕微鏡システム、X線回折装置 メンテナンスボックス； 試料調製・分析装置 ホット化学実験室 グローブボックス； 試料移送装置 フード 化学分析室 グローブボックス； アルゴンガス循環精製装置 試料処理室 物性測定用ボックス； 熱拡散率測定装置、アルゴンガス循環精製装置 ボックス付比熱容量測定装置 ホットモックアップ室 フード 取扱核燃料物質： 天然ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) 劣化ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) 濃縮ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) プルトニウム (化学形：Pu、PuO_2、$Pu(NO_3)_4$、PuN) (物理的形態：固体、粉体、液体) トリウム (化学形：Th、ThO_2、$Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、粉体、液体) 使用済燃料^{注1}及び高レベル放射性廃棄物試料 (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、Pu、PuO_2、$Pu(NO_3)_4$、Th、ThO_2、$Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、液体) </td> </tr> </tbody> </table>	目的番号	使用の目的	1	放射性廃棄物の処理処分の安全性に関する試験研究、原子炉等の構造物の健全性に関する試験研究及び原子炉で照射した核燃料物質の照射後試験を行う。また、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所から受入れた試料（土壌、瓦礫、植物及び汚染水）、原子炉建屋内及びタービン建屋内で採取した試料（金属材料、有機材料、瓦礫及び滞留水）及び汚染水の処理設備の試料（構造物、吸着材、処理水、汚染水の処理に伴う二次廃棄物）（以下「1F汚染物」という。）並びに同発電所内で採取した熔融した燃料成分が構造物を巻き込みながら固化した物、切り株状燃料及び損傷ペレット（以下「1F燃料デブリ」という。）の試験を行う。	使用の方法		取扱設備・機器： No.1セル； 容器溶接封入装置、固化体貯蔵ピット、機械強度試験装置 No.2セル； ー No.3セル； 固化体一時貯蔵ピット No.4セル； 腐食試験装置 No.5セル； 小規模熔融固化体作製装置、固化体一時貯蔵ピット、蒸発挙動試験装置 鉛セル； インセル顕微鏡システム、X線回折装置 メンテナンスボックス； 試料調製・分析装置 ホット化学実験室 グローブボックス； 試料移送装置 フード 化学分析室 グローブボックス； アルゴンガス循環精製装置 試料処理室 物性測定用ボックス； 熱拡散率測定装置、アルゴンガス循環精製装置 ボックス付比熱容量測定装置 ホットモックアップ室 フード 取扱核燃料物質： 天然ウラン (化学形：U、 UO_2 、 U_3O_8 、 $UO_2(NO_3)_2$ 、UN、 U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) 劣化ウラン (化学形：U、 UO_2 、 U_3O_8 、 $UO_2(NO_3)_2$ 、UN、 U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) 濃縮ウラン (化学形：U、 UO_2 、 U_3O_8 、 $UO_2(NO_3)_2$ 、UN、 U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) プルトニウム (化学形：Pu、 PuO_2 、 $Pu(NO_3)_4$ 、PuN) (物理的形態：固体、粉体、液体) トリウム (化学形：Th、 ThO_2 、 $Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、粉体、液体) 使用済燃料 ^{注1} 及び高レベル放射性廃棄物試料 (化学形：U、 UO_2 、 U_3O_8 、 $UO_2(NO_3)_2$ 、Pu、 PuO_2 、 $Pu(NO_3)_4$ 、Th、 ThO_2 、 $Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、液体)		<p>左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。 (同時使用しないことについて明確化及び1F燃料デブリの試験に係る事項の追加)</p>
目的番号	使用の目的									
1	放射性廃棄物の処理処分の安全性に関する試験研究、原子炉等の構造物の健全性に関する試験研究及び原子炉で照射した核燃料物質の照射後試験を行う。また、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所から受入れた試料（土壌、瓦礫、植物及び汚染水）、原子炉建屋内及びタービン建屋内で採取した試料（金属材料、有機材料、瓦礫及び滞留水）及び汚染水の処理設備の試料（構造物、吸着材、処理水、汚染水の処理に伴う二次廃棄物）（以下「1F汚染物」という。）並びに同発電所内で採取した熔融した燃料成分が構造物を巻き込みながら固化した物、切り株状燃料及び損傷ペレット（以下「1F燃料デブリ」という。）の試験を行う。									
使用の方法										
取扱設備・機器： No.1セル； 容器溶接封入装置、固化体貯蔵ピット、機械強度試験装置 No.2セル； ー No.3セル； 固化体一時貯蔵ピット No.4セル； 腐食試験装置 No.5セル； 小規模熔融固化体作製装置、固化体一時貯蔵ピット、蒸発挙動試験装置 鉛セル； インセル顕微鏡システム、X線回折装置 メンテナンスボックス； 試料調製・分析装置 ホット化学実験室 グローブボックス； 試料移送装置 フード 化学分析室 グローブボックス； アルゴンガス循環精製装置 試料処理室 物性測定用ボックス； 熱拡散率測定装置、アルゴンガス循環精製装置 ボックス付比熱容量測定装置 ホットモックアップ室 フード 取扱核燃料物質： 天然ウラン (化学形：U、 UO_2 、 U_3O_8 、 $UO_2(NO_3)_2$ 、UN、 U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) 劣化ウラン (化学形：U、 UO_2 、 U_3O_8 、 $UO_2(NO_3)_2$ 、UN、 U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) 濃縮ウラン (化学形：U、 UO_2 、 U_3O_8 、 $UO_2(NO_3)_2$ 、UN、 U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体) プルトニウム (化学形：Pu、 PuO_2 、 $Pu(NO_3)_4$ 、PuN) (物理的形態：固体、粉体、液体) トリウム (化学形：Th、 ThO_2 、 $Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、粉体、液体) 使用済燃料 ^{注1} 及び高レベル放射性廃棄物試料 (化学形：U、 UO_2 、 U_3O_8 、 $UO_2(NO_3)_2$ 、Pu、 PuO_2 、 $Pu(NO_3)_4$ 、Th、 ThO_2 、 $Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、液体)										

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）		説明
		<p>注1)：使用済燃料のうち、1 F燃料デブリの化学形及び物理的形態については、別添1 1 F燃料デブリに係る使用の方法（廃棄物安全試験施設）参照。 取扱数量：セル及びグローブボックス、フード等の取扱数量を表2-1に示す。 なお、各使用場所内の1 F汚染物の放射エネルギーと使用済燃料（1 F燃料デブリを含む。）の放射エネルギーの合計は、取扱数量を超えないように管理する。 取扱方法： No.1セル～No.3セルでは、高レベル放射性廃棄物試料（高レベル放射性廃液をガラス固化した高レベル放射性廃棄物固化体試料及び高レベル放射性廃液試料）や使用済燃料の小試料を取り扱う。また、No.4セル、No.5セル、鉛セル及びグローブボックスにおいては、高レベル放射性廃棄物試料、使用済燃料の小試料、プルトニウム試料及びトリウムを含むプルトニウム燃料化合物の小試料を取り扱う。フードにおいては、高レベル放射性廃棄物試料、使用済燃料の小試料を取り扱う。</p>	
	1 (つづき)	<p>なお、各セルの作業フローシートを図2-1に示す。 ただし、No.1セルにおいて、使用の目的2に係る核燃料物質との同時使用は行わない。また、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的2に係る核燃料物質は、同一のピット用収納容器への収納を行わない。 1 F汚染物にあつては、各種試験を実施する。1 F汚染物を使用、受入れ、貯蔵する際には、1 F汚染物の放射エネルギーと使用又は貯蔵されている使用済燃料（1 F燃料デブリを含む。）の放射エネルギーの合計が、使用の場所の取扱数量又は貯蔵施設における最大収納量以下であることを事前に確認した上で実施する。また、1 F汚染物の放射エネルギーと使用済燃料の放射エネルギーの合計が、「5. 予定使用期間及び年間予定使用量」に示す最大存在量及び延べ取扱量を超えないように管理する。 使用済燃料のうち、1 F燃料デブリの取扱いの詳細については、別添1 1 F燃料デブリに係る使用の方法（廃棄物安全試験施設）参照。 No.1セル； 核燃料物質等の搬入・搬出、密封溶接、切断・加工、放射能測定、核燃料物質の貯蔵、機械的強度試験 No.2セル； 核燃料物質等の搬入・搬出、非破壊検査 No.3セル； 核燃料物質等の搬入・搬出、測定用試料の作製（加工、溶解）、腐食試験、核燃料物質の一時貯蔵 No.4セル； 物性試験、腐食試験 No.5セル； 小規模熔融固化体作製、核燃料物質の一時貯蔵、蒸発挙動試験 鉛セル； 放射能測定、顕微鏡観察、物理的試験 メンテナンスボックス；化学的試験 ホット化学実験室 グローブボックス；試料の化学処理及び分析、浸出試験 フード；化学的試験 化学分析室 グローブボックス；試料の化学処理及び分析、浸出試験 試料処理室 物性測定用ボックス；試料の調製、熱拡散率測定 ボックス付比熱容量測定装置；比熱容量測定 ホットモックアップ室</p>	

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）		説明																				
		<p>フード；化学的試験</p> <p>取扱注意事項： 負圧の維持</p>																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1478 436 1614 478">目的番号</th> <th data-bbox="1614 436 2585 478">使用の目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1478 478 1614 520">2</td> <td data-bbox="1614 478 2585 520">使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1478 520 1614 1335"></td> <td data-bbox="1614 520 2585 1335"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1614 531 2585 573">使用の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1614 573 2585 636"> <p>取扱設備・機器： No.1セル； 固化体貯蔵ピット</p> </td> <td data-bbox="1614 636 2585 699"> <p>取扱核燃料物質： 使用済燃料（化学形：UO₂、PuO₂、ThO₂、U-Al、UAl_x-Al、 U₃Si₂-Al、U-ZrH）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 699 2585 762"> <p>（物理的形態：固体）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 762 2585 825"> <p>取扱数量：No.1セルの取扱数量を表2-1に示す。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 825 2585 1119"> <p>取扱方法： No.1セルにおいて使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。 ただし、使用の目的1に係る核燃料物質との同時使用は行わない。また、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的1に係る核燃料物質は、同一のピット用収納容器への収納を行わない。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 1119 2585 1182"> <p>No.1セル； 使用済燃料の搬入、搬出、使用済燃料の貯蔵及び貯蔵に係る取扱作業（使用済燃料の貯蔵に係る健全性の確認）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 1182 2585 1335"> <p>取扱注意事項： 負圧の維持</p> </td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	目的番号	使用の目的	2	使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1614 531 2585 573">使用の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1614 573 2585 636"> <p>取扱設備・機器： No.1セル； 固化体貯蔵ピット</p> </td> <td data-bbox="1614 636 2585 699"> <p>取扱核燃料物質： 使用済燃料（化学形：UO₂、PuO₂、ThO₂、U-Al、UAl_x-Al、 U₃Si₂-Al、U-ZrH）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 699 2585 762"> <p>（物理的形態：固体）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 762 2585 825"> <p>取扱数量：No.1セルの取扱数量を表2-1に示す。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 825 2585 1119"> <p>取扱方法： No.1セルにおいて使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。 ただし、使用の目的1に係る核燃料物質との同時使用は行わない。また、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的1に係る核燃料物質は、同一のピット用収納容器への収納を行わない。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 1119 2585 1182"> <p>No.1セル； 使用済燃料の搬入、搬出、使用済燃料の貯蔵及び貯蔵に係る取扱作業（使用済燃料の貯蔵に係る健全性の確認）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 1182 2585 1335"> <p>取扱注意事項： 負圧の維持</p> </td> </tr> </tbody> </table>	使用の方法		<p>取扱設備・機器： No.1セル； 固化体貯蔵ピット</p>	<p>取扱核燃料物質： 使用済燃料（化学形：UO₂、PuO₂、ThO₂、U-Al、UAl_x-Al、 U₃Si₂-Al、U-ZrH）</p>	<p>（物理的形態：固体）</p>		<p>取扱数量：No.1セルの取扱数量を表2-1に示す。</p>		<p>取扱方法： No.1セルにおいて使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。 ただし、使用の目的1に係る核燃料物質との同時使用は行わない。また、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的1に係る核燃料物質は、同一のピット用収納容器への収納を行わない。</p>		<p>No.1セル； 使用済燃料の搬入、搬出、使用済燃料の貯蔵及び貯蔵に係る取扱作業（使用済燃料の貯蔵に係る健全性の確認）</p>		<p>取扱注意事項： 負圧の維持</p>		<p>3. 核燃料物質の種類 ～ 9. 核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物の廃棄施設の位置、構造及び設備（記載省略）</p>	
目的番号	使用の目的																						
2	使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1614 531 2585 573">使用の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1614 573 2585 636"> <p>取扱設備・機器： No.1セル； 固化体貯蔵ピット</p> </td> <td data-bbox="1614 636 2585 699"> <p>取扱核燃料物質： 使用済燃料（化学形：UO₂、PuO₂、ThO₂、U-Al、UAl_x-Al、 U₃Si₂-Al、U-ZrH）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 699 2585 762"> <p>（物理的形態：固体）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 762 2585 825"> <p>取扱数量：No.1セルの取扱数量を表2-1に示す。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 825 2585 1119"> <p>取扱方法： No.1セルにおいて使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。 ただし、使用の目的1に係る核燃料物質との同時使用は行わない。また、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的1に係る核燃料物質は、同一のピット用収納容器への収納を行わない。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 1119 2585 1182"> <p>No.1セル； 使用済燃料の搬入、搬出、使用済燃料の貯蔵及び貯蔵に係る取扱作業（使用済燃料の貯蔵に係る健全性の確認）</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1614 1182 2585 1335"> <p>取扱注意事項： 負圧の維持</p> </td> </tr> </tbody> </table>	使用の方法		<p>取扱設備・機器： No.1セル； 固化体貯蔵ピット</p>	<p>取扱核燃料物質： 使用済燃料（化学形：UO₂、PuO₂、ThO₂、U-Al、UAl_x-Al、 U₃Si₂-Al、U-ZrH）</p>	<p>（物理的形態：固体）</p>		<p>取扱数量：No.1セルの取扱数量を表2-1に示す。</p>		<p>取扱方法： No.1セルにおいて使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。 ただし、使用の目的1に係る核燃料物質との同時使用は行わない。また、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的1に係る核燃料物質は、同一のピット用収納容器への収納を行わない。</p>		<p>No.1セル； 使用済燃料の搬入、搬出、使用済燃料の貯蔵及び貯蔵に係る取扱作業（使用済燃料の貯蔵に係る健全性の確認）</p>		<p>取扱注意事項： 負圧の維持</p>									
使用の方法																							
<p>取扱設備・機器： No.1セル； 固化体貯蔵ピット</p>	<p>取扱核燃料物質： 使用済燃料（化学形：UO₂、PuO₂、ThO₂、U-Al、UAl_x-Al、 U₃Si₂-Al、U-ZrH）</p>																						
<p>（物理的形態：固体）</p>																							
<p>取扱数量：No.1セルの取扱数量を表2-1に示す。</p>																							
<p>取扱方法： No.1セルにおいて使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。 ただし、使用の目的1に係る核燃料物質との同時使用は行わない。また、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的1に係る核燃料物質は、同一のピット用収納容器への収納を行わない。</p>																							
<p>No.1セル； 使用済燃料の搬入、搬出、使用済燃料の貯蔵及び貯蔵に係る取扱作業（使用済燃料の貯蔵に係る健全性の確認）</p>																							
<p>取扱注意事項： 負圧の維持</p>																							

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第 8 編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）	説明																																											
<p>（使用等の制限）</p> <p>第 15 条 ホット材料試験課長は、核燃料物質又は 1 F 汚染物を受入れ、払出し及び廃棄をしようとするときは、次の各号に掲げるところにより、法第 52 条の規定により許可を受けた年間予定使用量（以下「年間予定使用量」という。）を超えないようにして行わなければならない。</p> <p>(1) いかなる時点においても、受け入れようとする核燃料物質の量と在庫量との和が年間予定使用量（最大存在量）を超えないこと。また、受け入れようとする 1 F 汚染物の放射エネルギーと 1 F 汚染物の在庫量（放射エネルギー）と使用済燃料（<u>1 F 燃料デブリを含む。</u>）の在庫量（放射エネルギー）との和が年間予定使用量（最大存在量）を超えないこと。</p> <p>(2) 1 年間に受入れ、払出し及び廃棄をしようとする核燃料物質の量が年間予定使用量（延べ取扱量）を超えないこと。また、1 年間に受入れ、払出し及び廃棄をしようとする 1 F 汚染物の放射エネルギーと使用済燃料（<u>1 F 燃料デブリを含む。</u>）の放射エネルギーの和が年間予定使用量（延べ取扱量）を超えないこと。</p> <p>2 前項の年間予定使用量は、別表第 8 に掲げるとおりとする。</p> <p>第 15 条の 2 ～ 第 15 条の 3 （変更なし）</p>	<p>【許可書本文】</p> <p>1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名 ～ 4. 使用の場所（記載省略）</p> <p>5. 予定使用期間及び年間予定使用量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 25%;">核燃料物質の種類</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">予定使用期間</th> <th colspan="2" style="width: 60%;">年間予定使用量^{注1)}</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">最大存在量</th> <th style="width: 20%;">延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>劣化ウラン</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">共通編に記載</td> <td style="text-align: center;">3.0 kg</td> <td style="text-align: center;">3.0 kg</td> </tr> <tr> <td>天然ウラン</td> <td style="text-align: center;">8.0 kg</td> <td style="text-align: center;">8.0 kg</td> </tr> <tr> <td>濃縮ウラン</td> <td style="text-align: center;">7.5 kg</td> <td style="text-align: center;">7.5 kg</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5%未満</td> <td style="text-align: center;">(235U 量 375 g)</td> <td style="text-align: center;">(235U 量 375 g)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5%以上 20%未満</td> <td style="text-align: center;">7.0 kg</td> <td style="text-align: center;">7.0 kg</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">(235U 量 1400 g)</td> <td style="text-align: center;">(235U 量 1400 g)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">20%以上</td> <td style="text-align: center;">600 g</td> <td style="text-align: center;">600 g</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">(235U 量 600 g)</td> <td style="text-align: center;">(235U 量 600 g)</td> </tr> <tr> <td>プルトニウム（密封及び非密封）</td> <td></td> <td style="text-align: center;">60 g</td> <td style="text-align: center;">60 g</td> </tr> <tr> <td>トリウム</td> <td></td> <td style="text-align: center;">150 g</td> <td style="text-align: center;">150 g</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料（1 F 燃料デブリを含む。）^{注1)} 及び高レベル放射性廃棄物試料</td> <td></td> <td style="text-align: center;">37 PBq</td> <td style="text-align: center;">37 PBq</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 1) : 使用済燃料のうち、1 F 燃料デブリの年間予定使用量については、別添 1 1 F 燃料デブリに係る使用の方法（廃棄物安全試験施設）参照。</p> <p>6. 使用済燃料の処分の方法 ～ 9. 核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物の廃棄施設の位置、構造及び設備（記載省略）</p>	核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 ^{注1)}		最大存在量	延べ取扱量	劣化ウラン	共通編に記載	3.0 kg	3.0 kg	天然ウラン	8.0 kg	8.0 kg	濃縮ウラン	7.5 kg	7.5 kg	5%未満	(235U 量 375 g)	(235U 量 375 g)	5%以上 20%未満	7.0 kg	7.0 kg		(235U 量 1400 g)	(235U 量 1400 g)	20%以上	600 g	600 g		(235U 量 600 g)	(235U 量 600 g)	プルトニウム（密封及び非密封）		60 g	60 g	トリウム		150 g	150 g	使用済燃料（1 F 燃料デブリを含む。） ^{注1)} 及び高レベル放射性廃棄物試料		37 PBq	37 PBq	<p>左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。 （1 F 燃料デブリの試験に係る事項の追加）</p>
核燃料物質の種類	予定使用期間			年間予定使用量 ^{注1)}																																									
		最大存在量	延べ取扱量																																										
劣化ウラン	共通編に記載	3.0 kg	3.0 kg																																										
天然ウラン		8.0 kg	8.0 kg																																										
濃縮ウラン		7.5 kg	7.5 kg																																										
5%未満		(235U 量 375 g)	(235U 量 375 g)																																										
5%以上 20%未満		7.0 kg	7.0 kg																																										
		(235U 量 1400 g)	(235U 量 1400 g)																																										
20%以上		600 g	600 g																																										
	(235U 量 600 g)	(235U 量 600 g)																																											
プルトニウム（密封及び非密封）		60 g	60 g																																										
トリウム		150 g	150 g																																										
使用済燃料（1 F 燃料デブリを含む。） ^{注1)} 及び高レベル放射性廃棄物試料		37 PBq	37 PBq																																										

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）	説明										
<p>(貯蔵)</p> <p>第16条 ホット材料試験課長は、核燃料物質を貯蔵しようとするときは、別表第9に掲げる貯蔵施設で行い、かつ、同表に掲げる種類の核燃料物質以外の核燃料物質を貯蔵し、又は同表に掲げる最大収納量を超えて貯蔵してはならない。</p> <p><u>2</u> <u>ホット材料試験課長は、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的1と使用の目的2に係る核燃料物質を同一のピット用収納容器へ収納してはならない。</u></p> <p><u>3</u> ホット材料試験課長は、1F汚染物を貯蔵しようとするときは、別表第9に掲げる貯蔵施設で行うこと。また、設備内の1F汚染物の放射エネルギーと使用済燃料<u>(1F燃料デブリを含む。)</u>の放射エネルギーの和が、同表に掲げる最大収納量を超えて貯蔵してはならない。</p> <p><u>4</u> ホット材料試験課長は、別表第9を各設備に表示しなければならない。</p> <p><u>5</u> ホット材料試験課長は、核燃料物質を貯蔵するときは、当該核燃料物質の性状、使用履歴、貯蔵時の措置等を記録しなければならない。</p> <p><u>6</u> ホット材料試験課長は、核燃料物質を貯蔵した容器について、定期的に点検しなければならない。</p> <p>第17条～第24条 (変更なし)</p>	<p>【許可書本文】</p> <p>1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名（記載省略）</p> <p>2. 使用の目的及び方法</p> <table border="1" data-bbox="1484 346 2647 1959"> <thead> <tr> <th data-bbox="1484 346 1617 388">目的番号</th> <th data-bbox="1617 346 2647 388">使用の目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1484 388 1617 651">1</td> <td data-bbox="1617 388 2647 651">放射性廃棄物の処理処分の安全性に関する試験研究、原子炉等の構造材の健全性に関する試験研究及び原子炉で照射した核燃料物質の照射後試験を行う。また、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所から受入れた試料（土壌、瓦礫、植物及び汚染水）、原子炉建屋内及びタービン建屋内で採取した試料（金属材料、有機材料、瓦礫及び滞留水）及び汚染水の処理設備の試料（構造物、吸着材、処理水、汚染水の処理に伴う二次廃棄物）（以下「1F汚染物」という。）並びに同発電所内で採取した溶解した燃料成分が構造材を巻き込みながら固化した物、切り株状燃料及び損傷ペレット（以下「1F燃料デブリ」という。）の試験を行う。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1484 651 2647 693">使用の方法</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1484 693 2647 1428"> <p>取扱設備・機器：</p> <p>No.1セル； 容器溶接封入装置、固化体貯蔵ピット、機械強度試験装置</p> <p>No.2セル； —</p> <p>No.3セル； 固化体一時貯蔵ピット</p> <p>No.4セル； 腐食試験装置</p> <p>No.5セル； 小規模溶融固化体作製装置、固化体一時貯蔵ピット、蒸発挙動試験装置</p> <p>鉛セル； インセル顕微鏡システム、X線回折装置</p> <p>メンテナンスボックス； 試料調製・分析装置</p> <p>ホット化学実験室</p> <p>グローブボックス； 試料移送装置</p> <p>フード</p> <p>化学分析室</p> <p>グローブボックス； アルゴンガス循環精製装置</p> <p>試料処理室</p> <p>物性測定用ボックス； 熱拡散率測定装置、アルゴンガス循環精製装置</p> <p>ボックス付比熱容量測定装置</p> <p>ホットモックアップ室</p> <p>フード</p> <p>取扱核燃料物質：</p> <p>天然ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>劣化ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>濃縮ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>プルトニウム (化学形：Pu、PuO_2、$Pu(NO_3)_4$、PuN) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>トリウム (化学形：Th、ThO_2、$Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>使用済燃料^{注1)}及び高レベル放射性廃棄物試料 (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、Pu、PuO_2、$Pu(NO_3)_4$、Th、ThO_2、$Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、液体)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1484 1921 2647 1959">注1)：使用済燃料のうち、1F燃料デブリの化学形及び物理的形態については、別添</td> </tr> </tbody> </table>	目的番号	使用の目的	1	放射性廃棄物の処理処分の安全性に関する試験研究、原子炉等の構造材の健全性に関する試験研究及び原子炉で照射した核燃料物質の照射後試験を行う。また、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所から受入れた試料（土壌、瓦礫、植物及び汚染水）、原子炉建屋内及びタービン建屋内で採取した試料（金属材料、有機材料、瓦礫及び滞留水）及び汚染水の処理設備の試料（構造物、吸着材、処理水、汚染水の処理に伴う二次廃棄物）（以下「1F汚染物」という。）並びに同発電所内で採取した溶解した燃料成分が構造材を巻き込みながら固化した物、切り株状燃料及び損傷ペレット（以下「1F燃料デブリ」という。）の試験を行う。	使用の方法		<p>取扱設備・機器：</p> <p>No.1セル； 容器溶接封入装置、固化体貯蔵ピット、機械強度試験装置</p> <p>No.2セル； —</p> <p>No.3セル； 固化体一時貯蔵ピット</p> <p>No.4セル； 腐食試験装置</p> <p>No.5セル； 小規模溶融固化体作製装置、固化体一時貯蔵ピット、蒸発挙動試験装置</p> <p>鉛セル； インセル顕微鏡システム、X線回折装置</p> <p>メンテナンスボックス； 試料調製・分析装置</p> <p>ホット化学実験室</p> <p>グローブボックス； 試料移送装置</p> <p>フード</p> <p>化学分析室</p> <p>グローブボックス； アルゴンガス循環精製装置</p> <p>試料処理室</p> <p>物性測定用ボックス； 熱拡散率測定装置、アルゴンガス循環精製装置</p> <p>ボックス付比熱容量測定装置</p> <p>ホットモックアップ室</p> <p>フード</p> <p>取扱核燃料物質：</p> <p>天然ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>劣化ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>濃縮ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>プルトニウム (化学形：Pu、PuO_2、$Pu(NO_3)_4$、PuN) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>トリウム (化学形：Th、ThO_2、$Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>使用済燃料^{注1)}及び高レベル放射性廃棄物試料 (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、Pu、PuO_2、$Pu(NO_3)_4$、Th、ThO_2、$Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、液体)</p>		注1)：使用済燃料のうち、1F燃料デブリの化学形及び物理的形態については、別添		<p>左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。</p> <p>(同時使用しないことについて明確化及び1F燃料デブリの試験に係る事項の追加)</p>
目的番号	使用の目的											
1	放射性廃棄物の処理処分の安全性に関する試験研究、原子炉等の構造材の健全性に関する試験研究及び原子炉で照射した核燃料物質の照射後試験を行う。また、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所から受入れた試料（土壌、瓦礫、植物及び汚染水）、原子炉建屋内及びタービン建屋内で採取した試料（金属材料、有機材料、瓦礫及び滞留水）及び汚染水の処理設備の試料（構造物、吸着材、処理水、汚染水の処理に伴う二次廃棄物）（以下「1F汚染物」という。）並びに同発電所内で採取した溶解した燃料成分が構造材を巻き込みながら固化した物、切り株状燃料及び損傷ペレット（以下「1F燃料デブリ」という。）の試験を行う。											
使用の方法												
<p>取扱設備・機器：</p> <p>No.1セル； 容器溶接封入装置、固化体貯蔵ピット、機械強度試験装置</p> <p>No.2セル； —</p> <p>No.3セル； 固化体一時貯蔵ピット</p> <p>No.4セル； 腐食試験装置</p> <p>No.5セル； 小規模溶融固化体作製装置、固化体一時貯蔵ピット、蒸発挙動試験装置</p> <p>鉛セル； インセル顕微鏡システム、X線回折装置</p> <p>メンテナンスボックス； 試料調製・分析装置</p> <p>ホット化学実験室</p> <p>グローブボックス； 試料移送装置</p> <p>フード</p> <p>化学分析室</p> <p>グローブボックス； アルゴンガス循環精製装置</p> <p>試料処理室</p> <p>物性測定用ボックス； 熱拡散率測定装置、アルゴンガス循環精製装置</p> <p>ボックス付比熱容量測定装置</p> <p>ホットモックアップ室</p> <p>フード</p> <p>取扱核燃料物質：</p> <p>天然ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>劣化ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>濃縮ウラン (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、UN、U_2N_3) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>プルトニウム (化学形：Pu、PuO_2、$Pu(NO_3)_4$、PuN) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>トリウム (化学形：Th、ThO_2、$Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、粉体、液体)</p> <p>使用済燃料^{注1)}及び高レベル放射性廃棄物試料 (化学形：U、UO_2、U_3O_8、$UO_2(NO_3)_2$、Pu、PuO_2、$Pu(NO_3)_4$、Th、ThO_2、$Th(NO_3)_4$) (物理的形態：固体、液体)</p>												
注1)：使用済燃料のうち、1F燃料デブリの化学形及び物理的形態については、別添												

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）		説明
		<p>1 1 F 燃料デブリに係る使用の方法（廃棄物安全試験施設）参照。 取扱数量：セル及びグローブボックス、フード等の取扱数量を表2-1に示す。 なお、各使用場所内の1 F 汚染物の放射エネルギーと使用済燃料（1 F 燃料デブリを含む。）の放射エネルギーの合計は、取扱数量を超えないように管理する。 取扱方法： No.1セル～No.3セルでは、高レベル放射性廃棄物試料（高レベル放射性廃液をガラス固化した高レベル放射性廃棄物固化体試料及び高レベル放射性廃液試料）や使用済燃料の小試料を取り扱う。また、No.4セル、No.5セル、鉛セル及びグローブボックスにおいては、高レベル放射性廃棄物試料、使用済燃料の小試料、プルトニウム試料及びトリウムを含むプルトニウム燃料化合物の小試料を取り扱う。フードにおいては、高レベル放射性廃棄物試料、使用済燃料の小試料を取り扱う。</p>	
	1 (つづき)	<p>なお、各セルの作業フローシートを図2-1に示す。 ただし、No.1セルにおいて、使用の目的2に係る核燃料物質との同時使用は行わない。また、No.1セル固化体貯蔵ピットにおいて、使用の目的2に係る核燃料物質は、同一のピット用収納容器への収納を行わない。 1 F 汚染物にあつては、各種試験を実施する。1 F 汚染物を使用、受入れ、貯蔵する際には、1 F 汚染物の放射エネルギーと使用又は貯蔵されている使用済燃料（1 F 燃料デブリを含む。）の放射エネルギーの合計が、使用の場所の取扱数量又は貯蔵施設における最大収納量以下であることを事前に確認した上で実施する。また、1 F 汚染物の放射エネルギーと使用済燃料の放射エネルギーの合計が、「5. 予定使用期間及び年間予定使用量」に示す最大存在量及び延べ取扱量を超えないように管理する。 使用済燃料のうち、1 F 燃料デブリの取扱いの詳細については、別添1 1 F 燃料デブリに係る使用の方法（廃棄物安全試験施設）参照。 No.1セル； 核燃料物質等の搬入・搬出、密封溶接、切断・加工、放射能測定、核燃料物質の貯蔵、機械的強度試験 No.2セル； 核燃料物質等の搬入・搬出、非破壊検査 No.3セル； 核燃料物質等の搬入・搬出、測定用試料の作製（加工、溶解）、腐食試験、核燃料物質の一時貯蔵 No.4セル； 物性試験、腐食試験 No.5セル； 小規模溶融固化体作製、核燃料物質の一時貯蔵、蒸発挙動試験 鉛セル； 放射能測定、顕微鏡観察、物理的試験 メンテナンスボックス；化学的試験 ホット化学実験室 グローブボックス；試料の化学処理及び分析、浸出試験 フード；化学的試験 化学分析室 グローブボックス；試料の化学処理及び分析、浸出試験 試料処理室 物性測定用ボックス；試料の調製、熱拡散率測定 ボックス付比熱容量測定装置；比熱容量測定 ホットモックアップ室 フード；化学的試験</p>	

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）		説明																	
		<p>取扱注意事項： 負圧の維持</p>																		
	<p>3. 核燃料物質の種類～7. 核燃料物質の使用施設の位置、構造及び設備（記載省略）</p>																			
	<p>8. 核燃料物質の貯蔵施設の位置、構造及び設備</p>																			
	<p>貯蔵施設の位置、構造及び設備を以下に示す。なお、安全上重要な施設は存在しない。</p>																			
	<p>8-1 貯蔵施設の位置</p>																			
	<p>貯蔵施設の位置</p>	<p>本施設の貯蔵施設はNo.1セル床下に設置する固化体貯蔵ピット及びNo.3セル、No.5セル内の固化体一時貯蔵ピットである。各貯蔵の場所を図4-2-1、図4-3-1に示す。</p>																		
	<p>8-2（記載省略）</p>																			
	<p>8-3 貯蔵施設の設備</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>貯蔵設備の名称</th> <th>個数</th> <th>最大収納量</th> <th>内容物の物理的・化学的性状</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1412 949 1727 1419"> 固化体貯蔵ピット (No.1セル) </td> <td data-bbox="1727 949 1813 1419"> 20孔 </td> <td data-bbox="1813 949 1970 1419"> 貯蔵量を表2-1に示す。 核燃料物質の核的制限値を表7-2に示す。 </td> <td data-bbox="1970 949 2214 1419"> 物理的性状： 固体、粉体、液体 (使用の目的2については固体のみとする。) 化学的性状： 金属プルトニウム 酸化プルトニウム 窒化プルトニウム 硝酸プルトニウム 金属ウラン </td> <td data-bbox="2214 949 2644 1419"> 全長：約3,000mm 側壁：重コンクリートに埋設 ピット蓋：重コンクリート・鉛 φ300mm×800mm 貯蔵方法：換気設備を設けて除熱を行うとともに、測温装置を設けて温度監視を行う。 構造を図8-1に示す。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1412 1419 1727 1751"> 固化体一時貯蔵ピット (No.3セル) </td> <td data-bbox="1727 1419 1813 1751"> 1孔 </td> <td data-bbox="1813 1419 1970 1751"></td> <td data-bbox="1970 1419 2214 1751"> 酸化ウラン 窒化ウラン 硝酸ウラニル 金属トリウム 酸化トリウム 硝酸トリウム ウランアルミニウム </td> <td data-bbox="2214 1419 2644 1751"> 全長：約1,200mm 側壁：鉛、普通コンクリート ピット蓋：鉛 φ200mm×275mm 貯蔵方法：空気の流通孔を設けてピット内空気を自然対流させる。 構造を図8-2に示す。 </td> </tr> </tbody> </table>	貯蔵設備の名称	個数	最大収納量	内容物の物理的・化学的性状	仕様	固化体貯蔵ピット (No.1セル)	20孔	貯蔵量を表2-1に示す。 核燃料物質の核的制限値を表7-2に示す。	物理的性状： 固体、粉体、液体 (使用の目的2については固体のみとする。) 化学的性状： 金属プルトニウム 酸化プルトニウム 窒化プルトニウム 硝酸プルトニウム 金属ウラン	全長：約3,000mm 側壁：重コンクリートに埋設 ピット蓋：重コンクリート・鉛 φ300mm×800mm 貯蔵方法：換気設備を設けて除熱を行うとともに、測温装置を設けて温度監視を行う。 構造を図8-1に示す。	固化体一時貯蔵ピット (No.3セル)	1孔		酸化ウラン 窒化ウラン 硝酸ウラニル 金属トリウム 酸化トリウム 硝酸トリウム ウランアルミニウム	全長：約1,200mm 側壁：鉛、普通コンクリート ピット蓋：鉛 φ200mm×275mm 貯蔵方法：空気の流通孔を設けてピット内空気を自然対流させる。 構造を図8-2に示す。				
貯蔵設備の名称	個数	最大収納量	内容物の物理的・化学的性状	仕様																
固化体貯蔵ピット (No.1セル)	20孔	貯蔵量を表2-1に示す。 核燃料物質の核的制限値を表7-2に示す。	物理的性状： 固体、粉体、液体 (使用の目的2については固体のみとする。) 化学的性状： 金属プルトニウム 酸化プルトニウム 窒化プルトニウム 硝酸プルトニウム 金属ウラン	全長：約3,000mm 側壁：重コンクリートに埋設 ピット蓋：重コンクリート・鉛 φ300mm×800mm 貯蔵方法：換気設備を設けて除熱を行うとともに、測温装置を設けて温度監視を行う。 構造を図8-1に示す。																
固化体一時貯蔵ピット (No.3セル)	1孔		酸化ウラン 窒化ウラン 硝酸ウラニル 金属トリウム 酸化トリウム 硝酸トリウム ウランアルミニウム	全長：約1,200mm 側壁：鉛、普通コンクリート ピット蓋：鉛 φ200mm×275mm 貯蔵方法：空気の流通孔を設けてピット内空気を自然対流させる。 構造を図8-2に示す。																

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後 (下線部は変更箇所)	許可 (対応箇所抜粋)				説明	
	固化体一時貯蔵ピット (No.5セル)	1 孔		ム分散型合金 ウランシリコンアルミニウム分散型合金 ウランアルミニウム合金 ウラン水素化ジルコニウム 1 F 燃料デブリ ^{注1)}	全長 : 約 1,150mm 側壁 : 鉛、普通コンクリート ピット蓋 : 鉛 φ 200mm×200mm 貯蔵方法 : 空気の流通孔を設けてピット内空気を自然対流させる。 構造を図 8-2 に示す。	
	警報設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。				
	非常用電源設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。				
	消火設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。				
注1) : 使用済燃料のうち、1 F 燃料デブリの物理的・化学的性状については、別添1 1 F 燃料デブリに係る使用の方法 (廃棄物安全試験施設) 参照。						
9. 核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物の廃棄施設の位置、構造及び設備 (記載省略)						

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後 (下線部は変更箇所)							許可 (対応箇所抜粋)							説明
別表第1 核燃料物質の取扱数量							【許可書本文】 1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名 ～ 9. 核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物の廃棄施設の位置、構造及び設備 (記載省略)							
使用場所 ^{*1}	使用の目的1 ^{*2}					使用の目的2 ^{*3}	表2-1 核燃料物質の取扱数量							
	高レベル放射性廃棄物試料(Bq) ^{*4}	使用済燃料の小試料(Bq) ^{*4*5}	Pu(g) ^{*6}	U(kg) ^{*6}	Th(g) ^{*6}	使用済燃料の小試料(Bq)	使用場所 ^{*1}	高レベル放射性廃棄物試料 ^{*3} (Bq)	使用済燃料の小試料 ^{*3} (Bq)	Pu(g) ^{*2}	U(kg) ^{*2}	Th(g) ^{*2}	使用の目的2 使用済燃料の小試料(Bq)	
No. 1 セル	<u>1.85×10¹⁵</u>	<u>6.66×10¹³</u>	<u>12(ただし密封)</u>	<u>2</u>	<u>2</u>	<u>3.20×10¹⁴</u>	No.1 セル	<u>1.85×10¹⁵</u>	<u>6.66×10¹³</u>	<u>12(ただし密封)</u>	<u>2</u>	<u>2</u>	<u>3.2×10¹⁴</u>	
No.1セル固化体貯蔵ピット	<u>3.7×10¹⁶</u>	<u>1.85×10¹⁴</u>	<u>60(ただし密封)</u>	<u>15.1</u>	<u>10</u>	<u>3.20×10¹⁴</u>	No.1セル固化体貯蔵ピット	<u>3.7×10¹⁶</u>	<u>1.85×10¹⁴</u>	<u>60(ただし密封)</u>	<u>15.1</u>	<u>10</u>	<u>3.2×10¹⁴</u>	
No. 2 セル	<u>1.85×10¹⁵</u>	<u>6.66×10¹³</u>	<u>12(ただし密封)</u>	<u>2</u>	<u>2</u>	—	No.2 セル	<u>1.85×10¹⁵</u>	<u>6.66×10¹³</u>	<u>12(ただし密封)</u>	<u>2</u>	<u>2</u>	—	
No. 3 セル	<u>1.85×10¹⁵</u>	<u>6.66×10¹³</u>	<u>12(ただし密封)</u>	<u>2</u>	<u>2</u>	—	No.3 セル	<u>1.85×10¹⁵</u>	<u>6.66×10¹³</u>	<u>12(ただし密封)</u>	<u>2</u>	<u>2</u>	—	
No.3セル固化体一時貯蔵ピット	<u>1.85×10¹⁵</u>	<u>6.66×10¹³</u>	—	<u>2</u>	<u>2</u>	—	No.3セル固化体一時貯蔵ピット	<u>1.85×10¹⁵</u>	<u>6.66×10¹³</u>	—	<u>2</u>	<u>2</u>	—	
No. 4 セル	<u>3.70×10¹⁴</u>	<u>1.48×10¹²</u>	<u>12^{*7}</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	—	No.4 セル	<u>3.7×10¹⁴</u>	<u>1.48×10¹²</u>	<u>12^{*4}</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	—	
No. 5 セル	<u>1.85×10¹³</u>	<u>1.48×10¹²</u>	<u>12^{*7}</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	—	No.5 セル	<u>1.85×10¹³</u>	<u>1.48×10¹²</u>	<u>12^{*4}</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	—	
No.5セル固化体一時貯蔵ピット	<u>1.85×10¹³</u>	<u>1.48×10¹²</u>	<u>12</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	—	No.5セル固化体一時貯蔵ピット	<u>1.85×10¹³</u>	<u>1.48×10¹²</u>	<u>12</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	—	
鉛セル	<u>7.40×10¹¹</u>	<u>7.40×10¹¹</u>	<u>1^{*7}</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	—	鉛セル	<u>7.4×10¹¹</u>	<u>7.4×10¹¹</u>	<u>1^{*4}</u>	<u>1</u>	<u>1</u>	—	
メンテナンスボックス	—	—	<u>0.2^{*7}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	メンテナンスボックス	—	—	<u>0.2^{*4}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	
ホット化学実験室	—	—	—	—	—	—	ホット化学実験室	—	—	—	—	—	—	
グローブボックス	<u>3.70×10⁸</u>	<u>3.70×10⁸</u>	<u>0.2^{*7}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	グローブボックス	<u>3.7×10⁸</u>	<u>3.7×10⁸</u>	<u>0.2^{*4}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	
フード	<u>7.4×10⁷</u>	<u>7.4×10⁷</u>	—	—	—	—	フード	<u>7.4×10⁷</u>	<u>7.4×10⁷</u>	—	—	—	—	
化学分析室	—	—	—	—	—	—	化学分析室	—	—	—	—	—	—	
グローブボックス	<u>3.70×10⁸</u>	<u>3.70×10⁸</u>	<u>0.2^{*7}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	グローブボックス	<u>3.7×10⁸</u>	<u>3.7×10⁸</u>	<u>0.2^{*4}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	
試料処理室	—	—	—	—	—	—	試料処理室	—	—	—	—	—	—	
物性測定用ボックス	—	—	<u>0.2^{*7}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	物性測定用ボックス	—	—	<u>0.2^{*4}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	
ボックス付比熱容量測定装置	—	—	<u>0.1^{*7}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	ボックス付比熱容量測定装置	—	—	<u>0.1^{*4}</u>	<u>0.1</u>	<u>0.1</u>	—	
ホットモックアップ室	—	—	—	—	—	—	ホットモックアップ室	—	—	—	—	—	—	
フード	<u>7.4×10⁷</u>	<u>7.4×10⁷</u>	—	—	—	—	フード	<u>7.4×10⁷</u>	<u>7.4×10⁷</u>	—	—	—	—	
^{*1} 鉛セル及びグローブボックス並びにフードにおいては、高レベル放射性廃棄物試料と使用済燃料の小試料は同時に取り扱わないものとする。 ^{*2} 放射性廃棄物の処理処分の安全性に関する試験研究、原子炉等の構造材の健全性に関する試験研究及び原子炉で照射した核燃料物質の照射後試験を行う。 ^{*3} 使用済燃料の貯蔵及び貯蔵中の使用済燃料の健全性の確認を行う。 ^{*4} 取扱可能な性状は、固体又は液体とする。なお、鋼製容器に封入されていない使用済燃料の小試料(液体状)の取扱制限量は、貯蔵ピットを除く使用場所全体で5.0×10 ¹¹ Bqとする。 ^{*5} <u>1F燃料デブリを含む。</u> ^{*6} Pu、U及びThは高レベル放射性廃棄物試料と使用済燃料の小試料に含まれる量を除く。 ^{*7} ただし、非密封粉体の取扱制限量は、使用場所全体で1gとする。							^{*1} 鉛セル及びグローブボックス並びにフードにおいては、高レベル放射性廃棄物試料と使用済燃料の小試料は同時に取り扱わないものとする。 ^{*2} Pu、U及びThは高レベル放射性廃棄物試料と使用済燃料の小試料に含まれる量を除く。 ^{*3} 取扱可能な性状は、固体又は液体とする。なお、鋼製容器に封入されていない使用済燃料の小試料(液体状)の取扱制限量は、貯蔵ピットを除く使用場所全体で5.0×10 ¹¹ Bqとする。 ^{*4} ただし、非密封粉体の取扱制限量は、使用場所全体で1gとする。							
別表第2 ～ 別表第4 (変更なし)														

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）			許可（対応箇所抜粋）	説明
別表第5 作業開始前及び作業終了後の点検			（許可書本文に記載なし。）	記載の適正化のため、保安規定の記載と齟齬はない。
区分	設 備 名	点 検 項 目		
本	ベータ・ガンマセル（No.1、No.2及びNo.3）及び固化体貯蔵ピット	(1) 機器等が正常に維持されていること。 (2) 負圧が正常に維持されていること。 (3) <u>遮蔽扉</u> 、ハッチ等の開口が閉鎖状態にあること。 (4) 必要箇所に消火剤が用意されていること。		
	アルファ・ガンマセル（No.4、No.5及び鉛セル）			
体	グローブボックス（1-I、1-II、2、3、4及び5）、メンテナンスボックス、 <u>αγアイソレーションルーム</u> 及び サンプリングボックス	(1) 機器等が正常に維持されていること。 (2) 負圧が正常に維持されていること。 (3) ポート等の開口が閉鎖状態にあること。 (4) グローブ、ビニールバック等に損傷がないこと。 (5) 外部表面に汚染がないこと。		
	液体廃棄設備 〔 <u>廃液制御系、高レベル廃液系</u> 及びアルファ・ガンマ廃液系〕	警報水位以下で配管、バルブ等が正常であること。		
設	試験機器	セル等に設置した試験機器類が正常に維持されていること。		
	インセルモニタ	指示値が正常であること。		
特	受変電設備	電圧、電流が正常であること。		
	非常用電源設備	始動用圧縮空気及び操作機器等が正常であること。		
	空気圧縮設備	警報圧力以上で、操作機器等が正常であること。		
	気体廃棄設備	電源電圧、操作機器等が正常であること。		
	液体廃棄設備 〔 <u>中レベル廃液系、低レベル</u> <u>廃液系及び極低レベル廃液系</u> 〕	警報水位以下で配管、バルブ等が正常であること。		
別表第6 ～ 別表第7 （変更なし）				

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）			許可（対応箇所抜粋）				説明							
別表第8 核燃料物質の年間予定使用量			【許可書本文】 1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名 ~ 4. 使用の場所（記載省略） 5. 予定使用期間及び年間予定使用量				左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。 （1 F 燃料デブリの試験に係る事項の追加）							
核燃料物質の種類	年間予定使用量		核燃料物質の種類	予定使用期間	年間予定使用量 ^{注1)}									
	最大存在量	延べ取扱量			最大存在量	延べ取扱量								
劣化ウラン	3.0 kg	3.0 kg	劣化ウラン	共通編に記載	3.0 kg	3.0 kg								
天然ウラン	8.0 kg	8.0 kg	天然ウラン		8.0 kg	8.0 kg								
濃縮ウラン	7.5 kg (²³⁵ U 量 375 g)	7.5 kg (²³⁵ U 量 375 g)	5%未満		7.5 kg (²³⁵ U 量 375 g)	7.5 kg (²³⁵ U 量 375 g)								
			5%以上 20%未満		7.0 kg (²³⁵ U 量 1400 g)	7.0 kg (²³⁵ U 量 1400 g)								
			20%以上		600 g (²³⁵ U 量 600 g)	600 g (²³⁵ U 量 600 g)								
プルトニウム(密封及び非密封)	60 g	60 g	プルトニウム (密封及び非密封)		60 g	60 g								
トリウム	150 g	150 g	トリウム		150 g	150 g								
使用済燃料及び高レベル放射性廃棄物試料 <u>(1 F 燃料デブリを含む)</u>	37 PBq <u>(<input type="text"/> Bq*)</u>	37 PBq <u>(<input type="text"/> Bq*)</u>	使用済燃料（1 F 燃料デブリを含む。） ^{注1)} 及び高レベル放射性廃棄物試料		37 PBq	37 PBq								
*使用済燃料の年間予定使用量のうち、1 F 燃料デブリの最大の量			注1)：使用済燃料のうち、1 F 燃料デブリの年間予定使用量については、別添1 1 F 燃料デブリに係る使用の方法（廃棄物安全試験施設）参照。											
			【別添1】 1. 使用の方法 ~ 2. 核燃料物質の種類（記載省略） 3. 年間予定使用量											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">核燃料物質の種類</th> <th colspan="2">年間予定使用量^{注1)}</th> </tr> <tr> <th>最大存在量</th> <th>延べ取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用済燃料（1 F 燃料デブリ）</td> <td><input type="text"/> Bq^{注2)}</td> <td><input type="text"/> Bq^{注2)}</td> </tr> </tbody> </table>				核燃料物質の種類	年間予定使用量 ^{注1)}		最大存在量	延べ取扱量	使用済燃料（1 F 燃料デブリ）	<input type="text"/> Bq ^{注2)}	<input type="text"/> Bq ^{注2)}
核燃料物質の種類	年間予定使用量 ^{注1)}													
	最大存在量	延べ取扱量												
使用済燃料（1 F 燃料デブリ）	<input type="text"/> Bq ^{注2)}	<input type="text"/> Bq ^{注2)}												
			注1)：1 F 燃料デブリの年間予定使用量については、既許可の年間予定使用量（本文「5. 予定使用期間及び年間予定使用量」に記載する使用済燃料の年間予定使用量）の範囲で行い、これを超える核燃料物質の受入れは行わない。核燃料物質の貯蔵も既許可の貯蔵施設で行う。											
			注2)：東京電力ホールディングス（株）より提供された、事故発生時に1 F 各号機に装荷されていた燃料組成情報を基に、ORIGEN2.2により計算した値であり、A型輸送のデブリ重量（1回当たり約5g）において、2回分(約10g)に相当する。											

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）				許可（対応箇所抜粋）					説明															
別表第9 核燃料物質の最大収納量				【許可書本文】 1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名 ～ 7. 核燃料物質の使用施設の位置、構造及び設備（記載省略） 8. 核燃料物質の貯蔵施設の位置、構造及び設備 8-1～8-2（記載省略） 8-3 貯蔵施設の設備					左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。 （1F燃料デブリの試験に係る事項の追加）															
核燃料物質貯蔵施設		種類		最大収納量																				
設備	数量																							
No.1セル 固化体貯蔵 ピット	20個	使用済燃料（ <u>1F燃料デブリを含む。</u> ）及び高レベル放射性廃棄物試料 ^{*1}		全数で 37 PBq		貯蔵設備の名称 個数 最大収納量 内容物の物理的・化学的性状 仕様 固化体貯蔵ピット (No.1セル) 20孔 貯蔵量を表2-1に示す。核燃料物質の核的制限値を表7-2に示す。 物理的性状：固体、粉体、液体（使用の目的2については固体のみとする。） 化学的性状：金属プルトニウム、酸化プルトニウム、窒化プルトニウム、硝酸プルトニウム、金属ウラン、酸化ウラン、窒化ウラン、硝酸ウラニル、金属トリウム、酸化トリウム、硝酸トリウム、ウランアルミニウム分散型合金、ウランシリコンアルミニウム分散型合金、ウランアルミニウム合金、ウラン水素化ジルコニウム、1F燃料デブリ ^{注1)} 全長：約3,000mm 側壁：重コンクリートに埋設 ピット蓋：重コンクリート・鉛 φ300mm×800mm 貯蔵方法：換気設備を設けて除熱を行うとともに、測温装置を設けて温度監視を行う。 構造を図8-1に示す。																		
		劣化ウラン		全数で 2.0 kg																				
		天然ウラン		全数で 8.0 kg																				
		濃縮ウラン	5%未満	全数で 5.0 kg																				
			5%以上 20%未満	全数で 0.1 kg																				
		プルトニウム（ <u>ただし</u> 密封）		全数で 60 g																				
		トリウム		全数で 10 g																				
No.3セル 固化体一時 貯蔵ピット	1個	使用済燃料（ <u>1F燃料デブリを含む。</u> ）及び高レベル放射性廃棄物試料		1.85 PBq		固化体一時貯蔵ピット (No.3セル) 1孔 酸化ウラン、窒化ウラン、硝酸ウラニル、金属トリウム、酸化トリウム、硝酸トリウム、ウランアルミニウム分散型合金 全長：約1,200mm 側壁：鉛、普通コンクリート ピット蓋：鉛 φ200mm×275mm 貯蔵方法：空気の流通孔を設けてピット内空気を自然対流させる。 構造を図8-2に示す。																		
		劣化ウラン		0.1 kg																				
		天然ウラン		0.9 kg																				
		濃縮ウラン	5%未満	0.9 kg																				
			5%以上 20%未満	0.1 kg																				
		トリウム		2 g																				
No.5セル 固化体一時 貯蔵ピット	1個	使用済燃料（ <u>1F燃料デブリを含む。</u> ）及び高レベル放射性廃棄物試料		18.5 TBq		固化体一時貯蔵ピット (No.5セル) 1孔 ウランシリコンアルミニウム分散型合金、ウランアルミニウム合金、ウラン水素化ジルコニウム 全長：約1,150mm 側壁：鉛、普通コンクリート ピット蓋：鉛 φ200mm×200mm 貯蔵方法：空気の流通孔を設けてピット内空気を自然対流させる。 構造を図8-2に示す。																		
		劣化ウラン		0.1 kg																				
		天然ウラン		0.4 kg																				
		濃縮ウラン	5%未満	0.4 kg																				
			5%以上 20%未満	0.1 kg																				
		プルトニウム		12 g																				
		トリウム		2 g																				
^{*1} 使用の目的1の使用済燃料の小試料及び高レベル放射性廃棄物試料並びに使用の目的2の使用済燃料の小試料を含む。 ^{*2} Pu、U及びThは高レベル放射性廃棄物試料と使用済燃料の小試料に含まれる量を除く。				<table border="1"> <tr> <td>警報設備</td> <td colspan="4">「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。</td> </tr> <tr> <td>非常用電源設備</td> <td colspan="4">「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。</td> </tr> <tr> <td>消火設備</td> <td colspan="4">「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。</td> </tr> </table>					警報設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。				非常用電源設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。				消火設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。				
警報設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。																							
非常用電源設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。																							
消火設備	「7-3 使用施設の設備」記載のとおり。																							
				注1)：使用済燃料のうち、1F燃料デブリの物理的・化学的性状については、別添1 1F燃料デブリ																				

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）	許可（対応箇所抜粋）	説明																		
<p>別表第10 (変更なし)</p>	<p>に係る使用の方法（廃棄物安全試験施設）参照。</p> <p>9. 核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物の廃棄施設の位置、構造及び設備（記載省略）</p> <p>【別添1】 1. 使用の方法～5. 貯蔵施設の位置（記載省略）</p> <p>表-1 場所別使用の方法（記載省略）</p> <p>表-2 核燃料物質の取扱数量</p> <table border="1" data-bbox="1697 556 2359 987"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>取扱数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No.1 セル</td> <td>6.66×10^{13}</td> </tr> <tr> <td>No.1 セル固化体貯蔵ピット</td> <td>1.85×10^{14}</td> </tr> <tr> <td>No.2 セル</td> <td>6.66×10^{13}</td> </tr> <tr> <td>No.3 セル</td> <td>6.66×10^{13}</td> </tr> <tr> <td>No.3 セル固化体一時貯蔵ピット</td> <td>6.66×10^{13}</td> </tr> <tr> <td>No.4 セル</td> <td>1.48×10^{12}</td> </tr> <tr> <td>No.5 セル</td> <td>1.48×10^{12}</td> </tr> <tr> <td>No.5 セル固化体一時貯蔵ピット</td> <td>1.48×10^{12}</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 各設備において使用済燃料（1 F 燃料デブリを含む。）及び1 F 汚染物の放射能の合計が取扱数量を超えないこと。</p>	場所	取扱数量	No.1 セル	6.66×10^{13}	No.1 セル固化体貯蔵ピット	1.85×10^{14}	No.2 セル	6.66×10^{13}	No.3 セル	6.66×10^{13}	No.3 セル固化体一時貯蔵ピット	6.66×10^{13}	No.4 セル	1.48×10^{12}	No.5 セル	1.48×10^{12}	No.5 セル固化体一時貯蔵ピット	1.48×10^{12}	
場所	取扱数量																			
No.1 セル	6.66×10^{13}																			
No.1 セル固化体貯蔵ピット	1.85×10^{14}																			
No.2 セル	6.66×10^{13}																			
No.3 セル	6.66×10^{13}																			
No.3 セル固化体一時貯蔵ピット	6.66×10^{13}																			
No.4 セル	1.48×10^{12}																			
No.5 セル	1.48×10^{12}																			
No.5 セル固化体一時貯蔵ピット	1.48×10^{12}																			

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表
第8編 廃棄物安全試験施設の管理

変更後（下線部は変更箇所）						許可（対応箇所抜粋）	説明																			
別表第11 放射線測定機器及び測定箇所						<p>【許可書本文】</p> <p>1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名 ～ 6. 使用済燃料の処分の方法（記載省略）</p> <p>7. 核燃料物質の使用施設の位置、構造及び設備 （記載省略） 7-1 使用施設の位置 ～ 7-2 使用施設の構造 （記載省略） 7-3 使用施設の設備 セル設備及びセル付属設備～管理区域外作業室 （記載省略）</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">放射線管理設備</td> <td>ガンマ線エリア モニタ</td> <td>9台</td> <td>設備区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の線量当量率の監視用</td> </tr> <tr> <td>室内ダストモニタ (アルファ線)</td> <td>1台</td> <td>監視区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の空气中放射性物質濃度の監視用</td> </tr> <tr> <td>室内ダストモニタ (ベータ・ガンマ線)</td> <td>1台</td> <td>監視区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の空气中放射性物質濃度の監視用</td> </tr> <tr> <td>排気ダストモニタ</td> <td>1式</td> <td>監視区分：排気モニタリング設備 監視対象：排気中放射性物質濃度の監視用</td> </tr> <tr> <td>放射線監視盤</td> <td>1式</td> <td>監視区分：集中監視設備 監視対象：ガンマ線エリアモニタ、室内ダストモニタ、 排気ダストモニタ等の集中監視用</td> </tr> <tr> <td>放射線測定機器</td> <td>1式</td> <td>ハンドフットクロスモニタ、サーベイメータ 監視区分：測定器 監視対象：手足、衣服の表面密度測定、線量当量率、 表面密度の測定</td> </tr> </table> <p>図7-1-1、図7-1-2、図7-1-3に放射線管理設備の配置を示す。</p> <p>8. 核燃料物質の貯蔵施設の位置、構造及び設備 ～ 9. 核燃料物質又は核燃料物質によって汚染された物の廃棄施設の位置、構造及び設備（記載省略）</p>	放射線管理設備	ガンマ線エリア モニタ	9台	設備区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の線量当量率の監視用	室内ダストモニタ (アルファ線)	1台	監視区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の空气中放射性物質濃度の監視用	室内ダストモニタ (ベータ・ガンマ線)	1台	監視区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の空气中放射性物質濃度の監視用	排気ダストモニタ	1式	監視区分：排気モニタリング設備 監視対象：排気中放射性物質濃度の監視用	放射線監視盤	1式	監視区分：集中監視設備 監視対象：ガンマ線エリアモニタ、室内ダストモニタ、 排気ダストモニタ等の集中監視用	放射線測定機器	1式	ハンドフットクロスモニタ、サーベイメータ 監視区分：測定器 監視対象：手足、衣服の表面密度測定、線量当量率、 表面密度の測定	<p>左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。 （ガンマ線エリアモニタ及び室内ダストモニタの監視対象に係る記載の明確化）</p>
放射線管理設備	ガンマ線エリア モニタ	9台	設備区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の線量当量率の監視用																							
	室内ダストモニタ (アルファ線)	1台	監視区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の空气中放射性物質濃度の監視用																							
	室内ダストモニタ (ベータ・ガンマ線)	1台	監視区分：作業環境モニタリング設備 監視対象：作業環境中の空气中放射性物質濃度の監視用																							
	排気ダストモニタ	1式	監視区分：排気モニタリング設備 監視対象：排気中放射性物質濃度の監視用																							
	放射線監視盤	1式	監視区分：集中監視設備 監視対象：ガンマ線エリアモニタ、室内ダストモニタ、 排気ダストモニタ等の集中監視用																							
	放射線測定機器	1式	ハンドフットクロスモニタ、サーベイメータ 監視区分：測定器 監視対象：手足、衣服の表面密度測定、線量当量率、 表面密度の測定																							
機器種別	測定箇所	指示範囲	数量	測定目的	測定線種																					
排気ダストモニタ	排気口	$0 \sim 10^5 \text{ s}^{-1}$	1	排気中の放射性塵埃濃度の連続監視に用いる。	アルファ線																					
		$10^{-1} \sim 10^5 \text{ s}^{-1}$	1		ベータ線																					
室内ダストモニタ	施設内	$0 \sim 10^5 \text{ s}^{-1}$	1	作業環境中の空气中の放射性塵埃濃度の監視に用いる。	アルファ線																					
		$10^{-1} \sim 10^5 \text{ s}^{-1}$	1		ベータ線																					
ガンマ線 エリアモニタ		$10^{-1} \sim 10^5 \mu\text{Sv/h}$	9	作業環境中の線量当量率の連続監視に用いる。	ガンマ線																					
別表第12 ～ 別表第14 （変更なし）																										

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定
と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

第 10 編 バックエンド研究施設の管理

令和 4 年 9 月

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

変更後（下線部は変更箇所）	許可（下線部は変更箇所）	説明
<p>第10編 バックエンド研究施設の管理 目次 ～（変更なし）</p> <p>第1条 ～ 第26条 （変更なし）</p> <p>別表第1-1 （変更なし）</p>		

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

変更後 (下線部は変更箇所)							許可 (下線部は変更箇所)										説明
別表第1-2 最大取扱量 グローブボックス (1/6)							【許可本文】 表2-1(4) 最大取扱量 グローブボックス										左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。 (核燃料物質の種類を追加)
使用場所	Pu (g)	U (g)	²³³ U (g)	Th (g)	使用済燃料 (Bq)	備考	使用場所	Pu (g)	U (g)	²³³ U (g)	Th (g)	使用済燃料 (Bq)	目的	概要	主要設備等	備考	
A-1	0.02	0.2 (天然)*1 0.02 (5%未満)	0.02	0.2	3.7 × 10 ⁶ *5	実験室(VI)	A-10	0.2	1.5 (天然)	0.01	1	3.7×10 ⁶	バリア性能試験	グローブボックス A-12 及び A-13 で行う試験のための試料の調製等を行う。また、使用済燃料の前処理・廃液処理等を行う。		実験室 (VII)	
A-2	1	10 (天然) 1 (5%未満)	1	10	3.7 × 10 ⁶	実験室(VI)	A-11, A-12 及び A-13 *2	0.3	3 (天然)	0.02	1.5	—	バリア性能試験	(A-11) グローブボックス A-12 へ物品を搬入する。 (A-12, A-13) 人工バリア材及び天然バリア材中の TRU 核種の移動挙動、浸出挙動等について、アルゴンガス雰囲気下で試験を行う。		実験室 (VII)	
A-3	1	10 (天然) 1 (5%未満)	1	10	3.7 × 10 ⁶	実験室(VI)	B-1 及び B-2 **	10	100 (天然) *** 100 (劣化) *** 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満) 1 (93.3%以上 98%以下)	10	100	3.7×10 ⁸	アクチノイド化学試験 研修生の実習	アクチノイドの固体及び溶液試料の分光測定、電気化学測定等を行う。 天然ウラン及び劣化ウランを用いて、溶解・酸化挙動実験、溶媒抽出実験等の核燃料取り扱い実習を行う。		実験室 (III)	
A-4	0.5	5.5(天然) 1 (5%未満)	0.97	7.5	3.7 × 10 ⁶	実験室(VI)	B-3 及び B-4 **	10	100 (天然) *** 100 (劣化) *** 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満) 1 (93.3%以上 98%以下)	10	100	3.7×10 ⁸	再処理プロセス試験 研修生の実習	ウラン、プルトニウム試料溶液を用いた電気化学試験、不溶解残渣の処理等を行う。 天然ウラン及び劣化ウランを用いて、溶解・酸化挙動実験、溶媒抽出実験等の核燃料取り扱い実習を行う。		実験室 (III)	
A-5	1	10 (天然) 1 (5%未満)	1	10	3.7 × 10 ⁶	実験室(VI)	B-5	0.002	0.1 (天然) 0.1 (5%未満)	—	—	7.4×10 ⁷	再処理プロセス試験	化学セル内での溶解試験の際に発生するオフガスの測定等を行う。	・オフガスモニタリング装置	アイソレーションルーム (II) 上部	
A-6	12	5 (天然) 0.2(5%未満)	0.2	2	3.7 × 10 ⁸	実験室(VI)	* 3基のグローブボックスにおける最大取扱量の合計を示す。 ** 2基のグローブボックスにおける最大取扱量の合計を示す。 *** 研修生の実習では天然ウラン及び劣化ウランのみを使用する。										
A-7	12	2 (天然) 0.2(5%未満)	0.2	2	3.7 × 10 ⁸	実験室(VI)											
A-8	0.1	1 (天然) 0.1(5%未満)	0.1	1	3.7 × 10 ⁶ *5	実験室(VI)											
A-9	0.5	5 (天然) 0.5(5%未満)	0.5	5	3.7 × 10 ⁶ *5	実験室(VI)											
A-10	0.2	1.5(天然)	0.01	1	<u>3.7 × 10⁶</u>	実験室(VIII)											
A-11, 12 及び A-13*2	0.3	3 (天然)	0.02	1.5	—	実験室(VIII)											
B-1 及び B-2 *3	10	100 (天然)*4 100 (劣化)*4 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満) 1 (93.3%以上 98%以下)	10	100	3.7 × 10 ⁸	実験室(III)											

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

変更後 (下線部は変更箇所)							許可 (下線部は変更箇所)										説明
別表第1-3 最大取扱量 グローブボックス (2/6)							表2-1(5) 最大取扱量 グローブボックス										
使用場所	Pu (g)	U (g)	²³³ U (g)	Th (g)	使用済燃料 (Bq)	備考	使用場所	Pu (g)	U (g)	²³³ U (g)	Th (g)	使用済燃料 (Bq)	目的	概要	主要設備等	備考	
B-3 及び B-4 *1	10	100 (天然) *2 100 (劣化) *2 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満) 1 (93.3%以上 98%以下)	10	100	3.7 × 10 ⁸ *3	実験室(III)	B-6	0.01	1 (天然) 1 (5%未満)	—	—	3.7×10 ⁶	再処理プロセス試験	プロセスセル内での使用済燃料の溶解の際に発生するオフガスに含まれるよう素の捕集試験を行う。	・よう素捕集試験装置	フロッグマン準備室上部	
B-5	0.002	0.1 (天然) 0.1 (5%未満)	—	—	7.4 × 10 ⁷	アイソレーションルーム(II)上部	B-7	0.01	1 (天然) 1 (劣化) 0.01 (5%未満) 0.01 (5%以上 20%未満) 0.01 (20%以上 46%未満) 0.01 (46%以上 93.3%未満) 0.01 (93.3%以上 98%以下)	0.001	0.01	3.7×10 ⁶	アクチノイド化学試験	質量分析計の試料導入部を設置する。		実験室 (V)	
B-6	0.01	1 (天然) 1 (5%未満)	—	—	3.7 × 10 ⁷	フロッグマン準備室上部	C-1	<u>40</u>	500 (天然) 500 (劣化) 10 (5%未満)	—	10	1.85×10 ⁸	再処理プロセス試験	再処理プロセス試験で用いる試料の調製及び発光分析により試料の各種元素分析を行うため、発光分析装置の発光部等を設置する。	・廃液組成分析装置	実験室 (IV)	
B-7	0.01	1 (天然) 1 (劣化) 0.01 (5%未満) 0.01 (5%以上 20%未満) 0.01 (20%以上 46%未満) 0.01 (46%以上 93.3%未満) 0.01 (93.3%以上 98%以下)	0.001	0.01	3.7 × 10 ⁵	実験室(V)	C-2	<u>200</u>	1,000 (天然) 1,000 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	1.85×10 ⁸	再処理プロセス試験	ガラス器具等を用いて小規模な元素分離試験、採取した試料の調製及び前処理、核燃料物質の小分け等を行う。		実験室 (IV)	
C-1	<u>40</u>	500 (天然) 500 (劣化) 10 (5%未満)	—	10	1.85×10 ⁸ *3	実験室(IV)	C-4	1	200 (天然) 20 (5%未満)	—	—	1.85×10 ⁸	TRU高温化学試験	プルトニウム、使用済燃料を含有する各種化合物試料の表面観察を行う。高温における化学的特性試験を行う。	・走査型電子顕微鏡 ・示差走査熱量計	実験室 (IV)	
C-2	<u>200</u>	1,000 (天然) 1,000 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	1.85×10 ⁸ *3	実験室(IV)	C-7	5	1,000 (天然) 1,000 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	1.11×10 ⁷	再処理プロセス試験	ウラン共存系でのプルトニウムの原子価による抽出挙動等についての基礎試験を行う。	・小型抽出試験装置	実験室 (IV)	
C-4	1	200 (天然) 20 (5%未満)	—	—	1.85×10 ⁸	実験室(IV)	C-8	0.0016	10 (天然) 10 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	3.7×10 ⁶	再処理プロセス試験	再処理プロセス試験において発生したガラス器具等の汚染物について、除染等を行う。		廃液処理室(VI)	
C-7	5	1,000 (天然) 1,000 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	1.11×10 ⁷ *3	実験室(IV)											
C-8	0.0016	10 (天然) 10 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	3.7×10 ⁶ *3	廃液処理室(VI)											

*1 2基のグローブボックスにおける最大取扱量の合計を示す。
*2 研修生の実習では天然ウラン及び劣化ウランのみを使用する。
*3 1F燃料デブリを含む。

別表第1-4 ~ 別表第1-7
(変更なし)

左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。
(Puの最大取扱量の入れ替えに伴う変更)

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

変更後（下線部は変更箇所）							許可（下線部は変更箇所）										説明
別表第1-8 最大取扱量 フード（1/3）							表2-1(10) 最大取扱量 フード										
使用場所	Pu (g)	U (g)	²³³ U (g)	Th (g)	使用済燃料 (Bq)	備考	使用場所	Pu (g)	U (g)	²³³ U (g)	Th (g)	使用済燃料 (Bq)	目的	概要	主要設備等	備考	
H-1	—	2,000 (天然) 6,000 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	3.7 × 10 ⁸ *2	実験室(IV)	H-1	—	2,000 (天然) 6,000 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	3.7×10 ⁸	再処理プロセス試験	ガラス器具等を用いて再処理プロセス試験用試料の調製、小規模な化学分離試験等を行う。		実験室 (IV)	
H-2	0.01	2,000 (天然) 2,000 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	3.7 × 10 ⁸ *2	実験室(IV) グローブ付	H-2	0.01	2,000 (天然) 2,000 (劣化) 10 (5%未満)	—	—	3.7×10 ⁸	再処理プロセス試験	ガラス器具等を用いて再処理プロセス試験用試料の調製、小規模な化学分離試験等を行う。		実験室 (IV) グローブ付	
H-3	0.0016	100 (天然) <u>100 (劣化)</u> 10 (5%未満)	—	—	7.4 × 10 ⁷ *2	実験室(IV)	H-3	0.0016	100 (天然) <u>100 (劣化)</u> 10 (5%未満)	—	—	7.4×10 ⁷	再処理プロセス試験	ガラス器具等を用いて再処理プロセス試験用試料の調製、小規模な化学分離試験等を行う。		実験室 (IV)	
H-4	—	100 (天然) 10 (5%未満)	—	—	7.4 × 10 ⁷	実験室(IV)	H-4	—	100 (天然) 10 (5%未満)	—	—	7.4×10 ⁷	TRU高温化学試験	ガラス器具等を用いてTRU高温化学試験用試料の調製等を行う。		実験室 (IV)	
H-5	0.0016	100 (天然) 100 (劣化) <u>10 (5%未満)</u>	—	—	7.4 × 10 ⁷ *2	実験室(IV)	H-5	0.0016	100 (天然) 100 (劣化) <u>10 (5%未満)</u>	0.01	100	3.7×10 ⁸	再処理プロセス試験	ガラス器具等を用いて再処理プロセス試験用試料の調製、小規模な化学分離試験等を行う。		実験室 (IV)	
H-6	—	100 (天然) 100 (劣化)	—	100	3.7 × 10 ⁸ *2	実験室(IV)	H-6	—	100 (天然) 100 (劣化)	—	100	3.7×10 ⁸	再処理プロセス試験	ガラス器具等を用いて再処理プロセス試験用試料の調製、小規模な化学分離試験等を行う。		実験室 (IV)	
H-7	—	100 (天然) 1 (劣化) 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満)	—	100	3.7 × 10 ⁸	実験室(III)	H-7	—	100 (天然) 1 (劣化) 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満)	—	100	3.7×10 ⁸	アクチノイド化学試験	ガラス器具等を用いて試料調製、小規模なアクチノイドの固体及び溶液試料の分光測定、電気化学測定等を行う。		実験室 (III)	
H-8	—	100 (天然) 1 (劣化) 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満)	—	100	3.7 × 10 ⁸	実験室(III)	H-8	—	100 (天然) 1 (劣化) 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満)	—	100	3.7×10 ⁸	アクチノイド化学試験	ガラス器具等を用いて試料調製、小規模なアクチノイドの固体及び溶液試料の分光測定、電気化学測定等を行う。		実験室 (III)	
H-9	0.0016	100 (天然) 1 (劣化) 20 (5%未満) 20 (5%以上 20%未満) 10 (20%以上 46%未満) 10 (46%以上 93.3%未満) 0.1(93.3%以上 98%以下)	0.01	100	2.24×10 ⁸ *1	実験室(III)											

*1 照射済分析試料含む。
*2 1F燃料デブリを含む。

左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。
(核燃料物質の種類を追加)

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

変更後（下線部は変更箇所）	許可（下線部は変更箇所）	説明
別表第1-9 ～ 別表第1-10 （変更なし）		

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

変更後（下線部は変更箇所）							許可（下線部は変更箇所）										説明
別表第1-1-1 最大取扱量 実験室							表2-1(14) 最大取扱量 実験室										左記のとおり許可に記載があり、保安規定の記載と齟齬はない。 (使用場所への追加に伴う表への追加)
使用場所	Pu (g)	U (g)	²³³ U (g)	Th (g)	使用済燃料 (Bq)	備考	使用場所	Pu (g)	U (g)	²³³ U (g)	Th (g)	使用済燃料 (Bq)	目的	概要	主要設備等	備考	
実験室(III) *1	<u>0.00016</u>	<u>2 (天然)</u> <u>2 (劣化)</u> <u>2 (5%未満)</u>	—	—	<u>3.7 × 10⁵</u>	焼き付け、封入	実験室(III)*	0.00016	2 (天然) 2 (劣化) 2 (5%未満)	—	—	3.7×10 ⁵	アクチノイド化学試験	小規模なアクチノイドの固体及び溶液試料の放射能測定を行う。	・放射能測定装置	焼き付け、封入	
実験室(IV) *1	0.00016	2 (天然) 2 (劣化) 2 (5%未満)	—	—	3.7 × 10 ⁴ *2	焼き付け、封入	実験室(IV)*	0.00016	2 (天然) 2 (劣化) 2 (5%未満)	—	—	3.7×10 ⁴	再処理プロセス試験	再処理プロセス試験試料中の放射能測定を行う。	・放射能測定装置	焼き付け、封入	
実験室(VI) *1	0.00016	1 (天然) 1 (5%未満)	—	—	3.7 × 10 ⁵ *2	焼き付け、封入	実験室(VI)*	0.00016	1 (天然) 1 (5%未満)	—	—	3.7×10 ⁵	バリア性能試験	バリア材試料の同定分析を行う。	・走査型電子顕微鏡 ・X線回折装置	焼き付け、封入	
実験室(VII)-1	18	100 (天然) 100 (5%未満) 100 (5%以上 20%未満) 150 (93%以上 93.5%以下)	100	100	—	固体密封、固体封入*3	実験室(VII)-1	18	100 (天然) 100 (5%未満) 100 (5%以上 20%未満) 150 (93%以上 93.5%以下)	100	100	—	TRU計測試験	中性子照射によりTRU模擬試験体中の核分裂性物質を核分裂させ、その際発生する中性子及びガンマ線を測定する。また、自発核分裂中性子及び(α、n)反応による中性子を測定する。	・TRU非破壊測定試験装置	固体密封、固体封入**	
実験室(VII)-2	18	100 (天然) 100 (5%未満) 100 (5%以上 20%未満)	100	100	—	固体密封、固体封入*3	実験室(VII)-2	18	100 (天然) 100 (5%未満) 100 (5%以上 20%未満)	100	100	—	TRU計測試験	TRU模擬試験体の充填状態を測定する。	・試験体内部測定試験装置	固体密封、固体封入**	
分析室(I) *1	0.00016	2 (天然) 2 (劣化) 2,000 (5%未満) 2 (5%以上 20%未満) 1 (20%以上 46%未満) 1 (46%以上 93.3%未満) 0.01(93.3%以上 98%以下)	0.001	1	3.7 × 10 ⁴ *2	封入、圧縮成型、焼結	分析室(I)*	0.00016	2 (天然) 2 (劣化) 2,000 (5%未満) 2 (5%以上 20%未満) 1 (20%以上 46%未満) 1 (46%以上 93.3%未満) 0.01 (93.3%以上 98%以下)	0.001	1	3.7×10 ⁴	分析並びにデブリ模擬体試料の封入及び取出し	分析試料中の放射能測定を行う。また、デブリ模擬体試料のデブリ模擬体挿入管への封入及び取出しを行う。	・放射能測定装置	封入、圧縮成型、焼結	
分析室(II) *1	0.00016	2 (天然) 2 (劣化) 2 (5%未満) 2 (5%以上 20%未満) 1 (20%以上 46%未満) 1 (46%以上 93.3%未満) 0.01(93.3%以上 98%以下)	0.001	1	3.7 × 10 ⁴ *2	焼き付け、封入	分析室(II)*	0.00016	2 (天然) 2 (劣化) 2 (5%未満) 2 (5%以上 20%未満) 1 (20%以上 46%未満) 1 (46%以上 93.3%未満) 0.01 (93.3%以上 98%以下)	0.001	1	3.7×10 ⁴	分析	分析試料中の放射能測定及び核種の同定分析を行う。	・放射能測定装置 ・質量分析計	焼き付け、封入	
精密測定室	0.00016	5 (天然)	0.001	1	3.7 × 10 ⁵ *2	焼き付け、封入	精密測定室	0.00016	5 (天然)	0.001	1	3.7×10 ⁵	バリア性能試験	バリア材試料について、元素分析を行う。	・X線光電子分析装置 ・質量分析計 ・放射能測定装置	焼き付け、封入	
*1 グローブボックス及びフードの取扱量を除く。 *2 1F燃料デブリを含む。 *3 実験室(VII)-1及び実験室(VII)-2において封入された状態で取り扱う核燃料物質は濃縮ウラン(ペレット)のみ。							* グローブボックス及びフードの取扱量は除く。 ** 実験室(VII)-1及び実験室(VII)-2において封入された状態で取り扱う核燃料物質は濃縮ウラン(ペレット)のみ。										

原子力科学研究所核燃料物質使用施設等保安規定と核燃料物質使用変更許可申請書との整理表

変更後（下線部は変更箇所）	許可（下線部は変更箇所）	説明
別表第2 ～ 別表第14 （変更なし） 別図（その1）～ 別図（その4） （変更なし）		